熊谷市
記者クラブ取材情報

令和4年2月24日発表
担当課:教育委員会社会教育課(江南文化財センター)

タイトル

池上遺跡現地見学会

1. 日時　令和４年３月１２日（土）　受付開始　午前９時３０分～午後２時

2. 場所　熊谷市池上３２４番地ほか（（仮称）道の駅「くまがや」予定地内）

3. 事業概要

・現在、（仮称）道の駅「くまがや」整備事業に伴い、予定地に所在する池上遺跡の発掘調査を実施しており、今年度は２年目になります。なお、現地における調査は４か年を予定しています。
・池上遺跡は、過去の発掘調査により、約２，０００年前の弥生時代中期の関東地方における稲作農耕集落の定着を証明した遺跡として知られ、東日本最古級の「方形周溝墓（ほうけいしゅうこうぼ）」や「環濠（かんごう）」（集落の境界堀）が発見された著名な遺跡です。
・今回の発掘調査では、弥生時代中期の環濠の南側への延長部分や以前に発掘したものと同時期の方形周溝墓、古墳時代前期（４世紀）の方形周溝墓と「周溝持竪穴建物跡（しゅうこうもちたてあなたてものあと）」という建物跡、古墳時代前期（４世紀）～平安時代（９世紀）の川幅３０ｍの河川跡が発見されています。
・出土遺物は、弥生土器、古墳時代～平安時代の土師器・須恵器、墨で文字などを書いた「墨書土器（ぼくしょどき）」など、多数見られます。
・弥生時代中期～平安時代の河川跡に隣接して営まれた低地集落跡についての貴重な資料を得ることができました。

4. 特徴やPRポイント

・古墳時代前期の周溝持竪穴建物跡は、市内では北島遺跡（上川上）や下田町（しもだまち）遺跡（津田）で合わせて４例検出されているほか、埼玉県内では、戸田市、加須市、東松山市、川島町などでも検出され、低地特有の集落の建物の形態と考えられています。
・今回発見された周溝持竪穴建物跡は、現在のところ７棟確認されていて、中には、建物を廃絶した後、方形周溝墓に改築した例もあります。

5. その他

・現地見学会は、事前予約制とし、令和４年２月２５日（金）～３月１０日（木）、江南文化財センター（電話０４８－５３６－５０６２）にて受付します。
・新型コロナ感染症対策を「彩の国『新しい生活様式』安全宣言」に従って実施する予定ですが、感染状況によっては中止する場合があります。

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　腰塚　博隆　大野　美知子（社会教育課文化財保護係）
連絡先　０４８－５３６－５０６２（江南文化財センター）

熊谷市池上遺跡現地見学会　記者会見資料（令和４年２月２４日発表）

１　池上遺跡の概要について

⑴　所 在 地　　熊谷市池上３２４番地ほか（(仮称) 道の駅「くまがや」整備予定地内）
⑵　調査期間　　令和２年４月から４か年（予定）
⑶　調査原因　　（仮称）道の駅「くまがや」整備事業
⑷　調査面積　　６５，３０６㎡（予定）
⑸　立　　地　　西から東に緩やかに傾斜する荒川新扇状地上（現況は水田地帯）

２　現地見学会について

⑴　池上遺跡現地見学会告知配布用チラシ
　別紙１のとおり

３　検出された主な遺構及び遺物について

⑴　弥生時代中期（約２，０００年前～）
　ア　遺構
　　方形周溝墓１基、環濠跡１条
　イ　遺物
　　弥生土器
　　管玉　石器（石鏃など）
⑵　古墳時代前期（約１，７００～１，６００年前）
　ア　遺構
　　周溝持竪穴建物跡７棟、方形周溝墓１基、河川跡１条
　イ　遺物
　　土師器
⑶　その他
　ア　奈良・平安時代（約１，３００～１，２００年前）
　　掘立柱建物跡５棟、井戸跡１基、河川跡１条
　イ　遺物
　　土師器、須恵器

４　見学の内容について

⑴　弥生時代中期

昭和５６～５７年度の県立さきたま資料館（現県立さきたま史跡の博物館）による発掘調査（以下、県第１次調査という。）で弥生時代中期の集落跡及び環濠、炭化米の発見から、関東地方における水耕稲作の定着を明らかにした著名な遺跡です。昭和５３～５７年度の県埋蔵文化財調査事業団による発掘調査では、周溝の四隅が切れるタイプの方形周溝墓が３基発見され、当時関東最古級のものとして注目されていました。今回の調査地点は、これら調査地点の間に位置するため、以前から注目されていた場所です。

発見された環濠は、以前検出されていたものと同一と考えられ、この環濠がさらに南下していたことが分かりました。

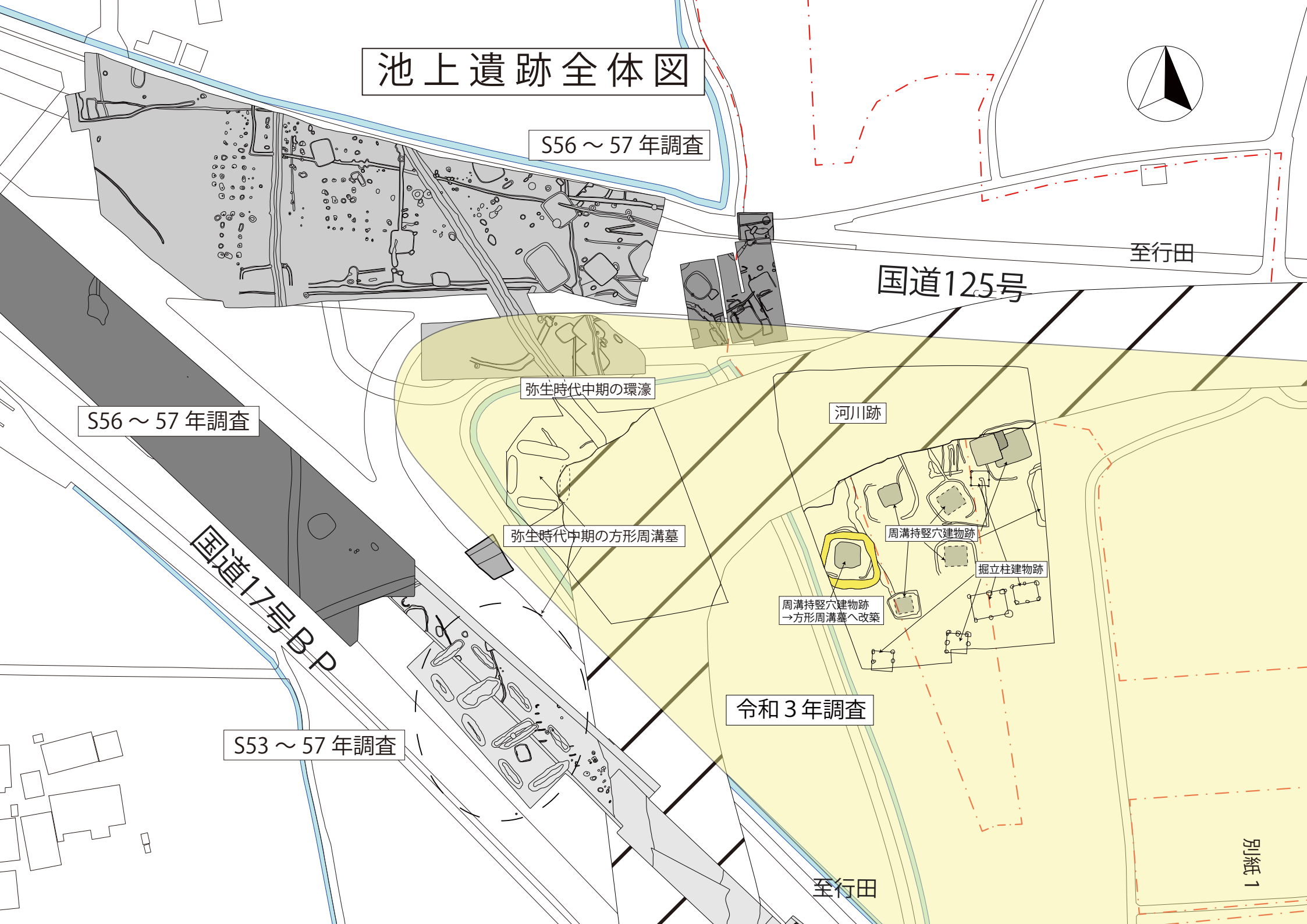
方形周溝墓は、以前検出されたものと同様の四隅が切れるタイプで、以前のものと同時期のため、何らかの関連性が考えられます。

⑵　古墳時代前期

河川跡とその左岸に営まれた集落が発見されました。河川跡は、県第１次調査で南北方向の流路が検出されていましたが、今回の調査では、その流路が東西に湾曲し、岸辺では、土器が多量に発見されました。これらは集落から廃棄されたものと考えられます。

調査では、河川跡の左岸に形成された集落跡も確認されています。この集落の特徴は、河川に隣接して形成され、「周溝持竪穴建物跡」が多く見られることです。これは、古くは方形周溝墓の一種と考えられていましたが、近年の研究によると、一説には排水施設とされる溝を備えた建物跡の一種であると考えられ、特に低湿地集落遺跡に多く確認されていることから低地特有の建物跡と考えられています。市内では、北島遺跡や下田町（しもだまち）遺跡で計４例検出されています。また、県内では、戸田市、加須市、東松山市、川島町などで確認され、特に戸田市の鍛冶谷・新田口（かじや・しんでんぐち）遺跡や川島町の富田後（とみたうしろ）遺跡では、１遺跡内で多数の建物跡が見つかっています。

今回の池上遺跡では、現在のところ７棟の検出ですが、今後の調査により検出数が増えることが期待されます。また、本遺跡では、建物廃絶後に方形周溝墓に改築した例もあり、集落と墓域の関係を考える上で貴重な情報提供が得られたと考えられます。


池上遺跡全体図
S56～57年調査
至行田
国道125号
弥生時代中期の環濠
河川跡
S56～57年調査
弥生時代中期の方形周溝墓
周溝持竪穴建物跡
掘立柱建物跡
周溝持竪穴建物跡
→方形周溝墓へ改築
国道17号BP
令和3年調査
S53～57年調査
至行田
別紙1

別紙２



弥生時代中期の環濠



弥生時代中期の方形周溝墓

別紙３



古墳時代前期の周溝持竪穴建物跡及び方形周溝墓



古墳時代～奈良・平安時代の河川跡



遺跡見学会のお知らせ

熊谷市池上遺跡（いけがみいせき）

～市内東部池上地区の水辺の集落跡～



令和４年 3 月 12 日（土）

受付時間　９：３０～１４：００　小雨決行

集合場所　池上遺跡発掘調査事務所

事前予約制

1　先着順とし、定員に達し次第終了とさせていただきます。

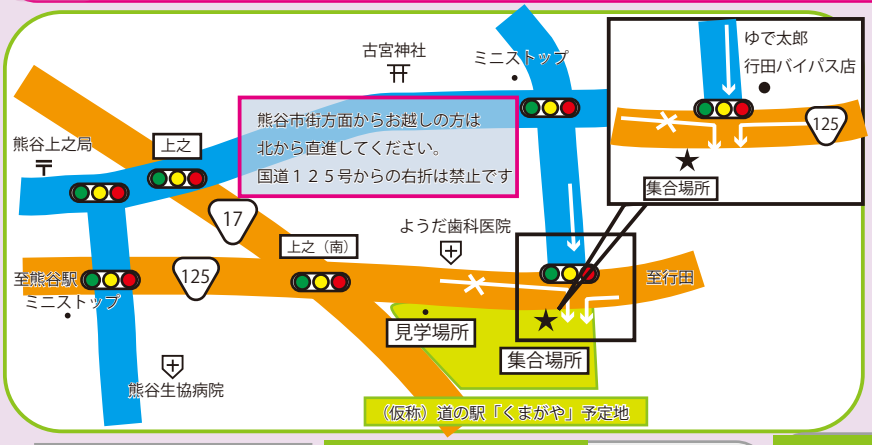
2　予約開始時間から１グループ１０名程度で１０分ごとに順次ご案内します。
（所要時間４０分程度）

3　新型コロナウイルス感染状況によっては、中止の可能性があります。

4　中止の場合は、熊谷デジタルミュージアム内「熊谷市文化財日記２」にてご案内します。
（HP　http://www.kumagaya-bunkazai2.blog.ss-blog.jp ）

5　当日はマスクを必ず着用し、検温にご協力ください。

6　徒歩で移動しますので、動きやすい服装、水分を持参してお越しください。



予約受付は下記まで

◆予約受付期間

２月 25 日（金）～
３月 10 日（木）

◆予約受付時間

１０：００～１６：００
（土日を除く）

熊谷デジタルミュージアム内
「熊谷市文化財日記２」QR コード

集合場所案内

池上遺跡発掘調査事務所

駐車場　70 台程度可能

お問い合わせ先

熊谷市立江南文化財センター

電話　048-536-5062

主催：熊谷市教育委員会　熊谷市立江南文化財センター